

日本の医学・医療と鍼灸の位置  
 —日本近代期の私立鍼灸学校の成立過程に着目して—

目次

序	形井秀一	i
要旨		ii
第1章 研究背景		
本論文における言葉の定義		1
1-1. 日本の鍼灸とは		1
1-2. 世界のCAMの動向と鍼灸		2
1-3. 何故、日本で鍼灸医学が見直されなければならないのか		3
1-4. 問題の所在と研究目的		5
1-5. 研究全貌と研究仮説		8
第2章 鍼灸教育		
2-1 世界の鍼灸教育の概要		13
2-1-1 日本		
2-1-2 アジア		
1) 中国		
2) 韓国		
2-1-3 アメリカ		
2-1-4 ヨーロッパ		
1) ドイツ		
2) イギリス		
3) フランス		
2-1-5 世界の概況		
2-2 日本の鍼灸教育の変遷		18
2-2-1 近代の概要		
2-2-2 戦後の概要		
2-2-3 福岡裁判以降		
第3章 近代日本における私立鍼灸学校の実在		
3-1 緒言		22
3-2 研究方法		23
3-2-1 本論における用語の定義		
3-2-2 鍼灸各種学校の実在について		
3-2-3 研究方法：一次資料をベースにした文献調査		

1) 文献検索機関および検索方法	
2) 研究対象文献	
3-3 結果	25
3-3-1 近代における鍼灸に関する私立学校の実在	
1) 一次資料の結果	
2) 一次資料に基づいた学術的資料の結果	
3) 近代の鍼灸雑誌から	
3-3-2 近代の私立鍼灸学校数および実態	
1) 私立鍼灸学校数の推移	
2) 実在が特定された私立鍼灸学校	
3) 実在が特定された私立鍼灸学校の実態	
4) その地域分布	
5) 文部省第77年報(1949年)について	
第4章 近代日本の鍼灸教育の成立過程に関する考察	
4-1 近代医学の制度と教育	34
4-2 制度的には認められなかった漢方医学と教育	36
4-3 鍼灸教育の黎明	37
4-4 鍼術灸術営業取締規則と鍼灸教育	38
4-4-1. 鍼術灸術営業取締規則および付属法令指定標準の件について	
4-4-2. 近代の各種学校の沿革の概要	
4-4-3. 鍼灸教育の成立と私立鍼灸学校	
4-5 近代鍼灸教育の実際	42
4-5-1. 教育課程について	
4-5-2. 鍼灸教育で用いられていた教科書について	
第5章 終章	
5-1 現代医学への疑問～鍼灸医学が正當に理解されていない	50
5-2 結語～歴史は繰り返す	51
5-3 本研究の限界と課題	52
5-4 文献	53
5-5 おわりに	59